



2019年 おだやかな年に…

2019年、新たな年、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

新年、早々からインフルエンザの爆発的な流行によって、我が地域作業所「ピープルファクトリー」では仲間たち/スタッフもマスクをして手洗い。。。と、神経をとがらしながら仕事に励んでいます。それにしても、一日の温度差が激しく、体がそれについていけません。自然界の秩序が崩れ始めていくことの恐ろしさを日々感じさせられています。

沖縄では、新年早々から民意を無視した自然破壊が、人為的かつ暴力的な振る舞いが堂々と日夜、まかり通り、沖縄の人々を、これでもか、これでもかと苦しめています。5兆3574億円、庶民感覚では想像もできないほどの軍事費が知らぬ間に承認され、戦争への道を突き進もうとしています。社会保障費がどんどんと削られる中、障がい者作業所への“雀の涙ほどの補助金”の制度に、厳しくチェックが入り、容赦なく減らしていています。巷では三食たべることに事欠く子ども達が、ささやかな「子ども食堂」に人のぬくもりを求めて集まっています。

駅前では、リストラされ仕事を失い住む家を無くした人々が途方にくれています。

しかし、沖縄の人々、小規模作業所存続のため政府間交渉に携わっている人々、「こども食堂」に来る子ども達、ヘルプする人々、駅前でホームレス支援の為に雑誌“ビッグイシュー”を販売する人、どの人も澄んだ目元は希望を見失ってはいない顔なのです。その姿は、この暗い悶々とした社会に、せめてもの光に思えます。いくら口先で、「景気は上昇している..！」と御上が叫んでも、日常的にこの様な光景の現実を目にしている者としては何の実感も湧きません。

それにしても、一国の長の“口八丁・ウソ八百のペテン政治”をこれ以上野放しにしているのは..、下々が苦勞するばかりだと思えますが……。皆さまはいかがお考えでしょうか？ 戦争は一握りの権力者のウソから始まります、それは世界の国々の負の歴史として証明されています。

2019年、私の好きな言葉、“強者の哲学より弱者の哲学”この言葉の奥深い意味がますます重みを増してくるのでは…と、心新たにしている年頭です。

今年も、「ピープルファクトリー」は、地域/社会に、少しでも？ “人として、人が住む町を..”の合言葉のもとで、仲間とともに歩んでまいります。皆さまの、あたたかいサポート、厚く感謝申し上げます。

NPO法人「ピープルファクトリー」代表 大谷東子

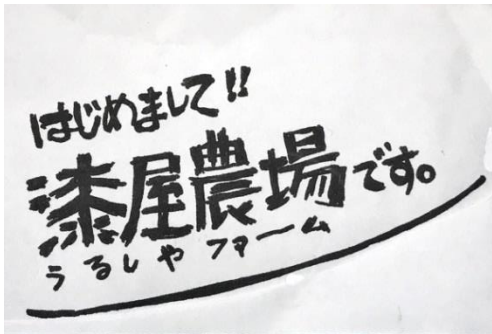
無農薬野菜店頭販売・地域の皆さんに大好評！！

“うるしやファーム”神奈川県小田原市、16代目当主の林やすなりさん。お会いした時から、この人は只者

ではないなあ〜…との感。

地場のローカルブランド品”下中たまねぎ”を郵便局販売へと軌道に乗せ「農業組合法人・俺たちのファーム」設立して、自分の育てた無農薬野菜を喜んで待ってくれる人がいれば、どこにでも運びますよ〜という気負いが無い自然体。自分で育て上げた野菜に愛を感じているからなのでしょう！ そんな訳で、私も、ひと葉も捨てまいとその野菜に愛を感じるのです。この感覚は昔、広々とした庭で父が育てた野菜を食べた時の…あの時の空気を思い出させるのです。今回の紙面は、何かわからないけど心あたたまる林やすなりさんのワールドを掲載しました。

(0)



ゆっくり、ゆっくり

彼らと一緒に

ゆっくりといきる

あれは農業法人を立ちあげたばかりの4年前。人手不足を補うために障がい者施設に援農を依頼し、集まってくれた自閉症の人たちに作業内容を説明している時のことです。それまでの人生で障がい者との接点などほぼ皆無。知識も関心も無いままに生きてきた僕は、かなり気負っていたんだと思います。相手は健常者じゃない。障者なんだから。出来るだけ丁寧に、平易な言葉で、何度でも、粘り強く。そう心がけ、作業内容を繰り返し説明しました。「そうじゃないよ」「それじゃダメだよ」。ダメ出しの言葉を優しさというオブラートに包んで、何度も何度も投げかけました。そしたら殴られたんです。突然、物凄い力で。

障がい者に言葉など伝わるわけがない。僕はハナからそう決めつけていたんだと思います。それでも伝えなきゃならない。だから何度も「ダメ」と「違う」を言いつのり、同じ説明を繰り返しました。でも、僕の言葉は届いていたんです。耳から入った言葉は、鼓膜を振るわせ神経をとおって脳へと続く道程を、ゆっくり時間をかけて染み込んでゆく。やがて脳にたどり着き、再び時間をかけてゆっくり咀嚼され、理解にいたる。そこで終わりじゃない。そこから今度は、心に向かってさらにゆっくり染み込んでゆく。そこで「なぜ今ここで自分がその作業をするのか」納得を伴った理解にいたり、ようやく行動に移される。その染み入り方が僕らよりもゆっくりだった。何倍も何十倍もゆっくりだった。それに気づかず、無闇にダメを繰り返し、同じ言葉をパンパンに詰め込んでしまった。だから、彼はパニックを起こし、そして僕を殴ったんだと思います。

ゆっくり育った野菜は味が濃く風味が豊かになる。これは農業人としての僕の核を形成する確信であり、信念でもあります。だから僕は環境にやさしいと言われていた有機なモノであっても、作物の成長を促す肥料の類いを一切使いません。ゆっくりではなくなってしまうからです。

「ゆっくり」が大事なのは野菜に限ったことではなかったんです。人も一緒。効率や生産性が重視され、あまりにも前のめりにスピードアップしたこの世の中であって、自閉症の彼らは、人が生きるにふさわしい「本来の時間」を、今も失わず持ち続けているのではないのでしょうか。だからこそ、彼らと過ごす

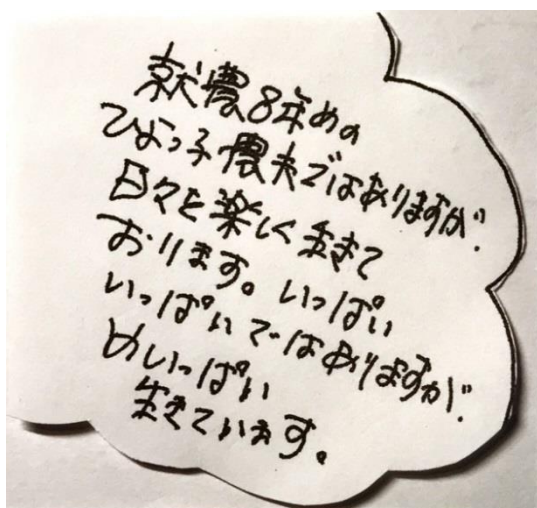
時間の中で、僕は「待つこと」の大切さに気づけたんです。答えや結果を急がず、ゆっくり生きる。僕が変わったのはその一点のみ。たったそれだけで、地味で単調で平凡極まりない日々の農作業がトキメキの時間になりました。彼らが畑に来る日は、ただそれだけでワクワクしている自分がいます。彼らと共に生きる機会を得た僕は、働く時間や遊ぶ時間、休みの時間の区別が曖昧になり、すべてが「生きる時間」でくくれるようになったんです。「あー、今日もよく生きた」その手応えを持って一日を終えることが出来る。この至極当たり前だけど、とてつもなく貴重な時を噛みしめながら、僕は彼らと共に生きています。

urushi-ya farm

漆屋農場

16代目当主 ★ 林やすなり

urushiya@kfy.biglobe.ne.jp



おいしい！「カレー亭」

本格派・スパイシーカレー！

岩手県・宮古市の「カレー亭」、本場インドから来日して6年目、彫りの深いハンサムな若いシェフ、仲間たちと和気藹々、楽しそうにタンドリーチキンを焼いています。仲間たちは思い思いに手伝いをしたり、大声を上げたり、それでもシェフは何も動じず、手伝っている仲間と黙々とタンドリーチキンを焼いています。その空気は何とも言えず、ゆるやかに流れ、ただ、香ばしいタンドリーチキンの香りが、あたりをあたたく包み込んでいくのです。

「宮古産業まつり」にて

「ピープルファクトリー」2階「カフェ&ギャラリー」の“ピープルランチ・メニュー”定番「カレー亭」のカレー・チキン・ビーフ・キーマをオシャレにアレンジしてお出ししています。また、

1階「ピープル・ショップ」にて「カレー亭」のカレーを販売しています。一度お楽しみください。

電話/Fax 0466-23-5110 または Eメール<people-factory@fb3.so-net.ne.jp>にてご注文下さい。

「ピープル」を、愛して下さった重由美子さん



1996年 アトランタ五輪セーリング 470級セイラー、銀メダリスト重由美子さんが昨年12月9日亡くされました。生前、「ピープル」の仲間たちに思いを馳せて下さり、江の島遠征時には必ず「ピープル」を訪れ、仲間たちと交流のひと時を楽しんでいかれました。2002年には「ピープル」恒例の「仲間旅行」を彼女の故郷佐賀県・唐津市へと招待して頂き、仲間たちは素晴らしい多くの思い出の旅となりました。

華やかな選手時代が終わり、五輪選手たちのその後の人生について思う時、重由美子さんが日常的に地元の若いセイラー達を愛を以て育てていられる姿勢には大きな共感を覚えました。又「ピープルファクトリー」を長年にわたってサポートして下さり、弱い立場にある人々に対するあたたかい彼女の思いは優しい彼女の眼差しから感じとることができました。あまりにも、早すぎるお別れに、無念でなりません。重さんの曇りのないクリアとした笑顔が忘れられません。

(T)

ピープルトロフィー 大活躍



日本セーリング連盟の新年会で、2018年度中に世界中で活躍したセイラーが表彰され、その記念品にピープルトロフィーが渡されました。独自のデザインと温かみのあるピープル手作りトロフィーは毎年、採用されています。

今回も ピープルファクトリーみんなの手で作られた19個のトロフィーが選手たちに手渡されました。

新デザインのフォイリングウインドサーフィングもデビュー。東京オリンピック470級女子でメダル候補の選手たちと一緒に表彰されたハンザ級世界選手

権で2位に入った片足セイラーの丹羽選手はトロフィーをもらって超ニコリ！！ 丹羽選手のこれからの検討を祈っています！！



支えてください NPO 法人 地域作業所「ピープルファクトリー」

皆さまからの2019年会員登録/寄付(3,000円以上)をお待ちしています。

ピープルニュースをメールにてご希望の方はアドレスを払込書の通信欄にご記入ください。

NPO法人地域作業所ピープルファクトリー 通知番号 52号 口座番号 00270-2-108988